

県 「誰一人取り残さない教育の実現」

校訓 美に挑む



富士の教育基本方針

「一緒に学ぶ 一生学ぶ」

小中共通学校教育目標「自分から」

生徒の実態

- ・毎日楽しく学校に登校している（行事・部活動）
- ・グループ学習はうまくできており、仲間の意見を認め、深めている
- ・学校での人間関係はうまくいっている
- ・自分から積極的に何かをやらうとする自主性が特活では出てきた
- ・新規長期欠席の生徒が減少してきた
- ・大人の支えが必要な生徒がまだ多い

地域の実態

- ・家庭や地域の教育力が高く、協力的
- ・地域教育連絡会（地域学校共同活動本部）の存在
- ・一中学校一小学校で距離も近い
- ・小、中学校ともにコミュニティスクール
- ・学校と連携していこうという思いが強い

Plan

重点目標（めざす人）

人を大切にできる人（徳）

- ・きもちの良い挨拶をしよう
- ・やさしい言葉を遣おう
- ・人の心を感じとろう

学びに向かう人（知）

- ・自分の思いをもとう
- ・考えよう
- ・伝えよう 表現しよう

やり抜く人（体）

- ・見通しをもち粘り強く取り組もう
- ・体も心も鍛えよう
- ・夢をもち未来を切り開こう

Do

- ・子供が主語
- ・多様性の尊重（LGBTQ・特別支援教育等）
- ・道徳の充実（授業研）
- ・ボランティアへの取り組み
- ・主体的な読書活動

- ・校内研修の充実
- ・個に応じた支援  
（指導の個別化、学習の個性化）
- ・指導要領の理念に沿った授業
- ・効果的なICT機器の活用

- ・命を大切にする教育の推進
- ・不登校生徒の対応（ケース会議等）
- ・計画的な総合的な学習（シヅクリの活用）
- ・手帳の有効活用
- ・主体的な部活への取り組み

その他様々な場面で

- ・小中一貫の推進
- ・特別活動の充実（蒼波祭を基盤に）
- ・生徒指導の4視点を生かした教育活動
- ・教育相談の充実
- ・CS（地域との連携）

Check

- ・授業がわかる 50 %
- ・授業に主体的に取り組んでいる 50%
- ・学校が楽しい 70%
- ・みんなで何かをするのは楽しい 70%
- ・「自分から」を意識した 50%
- ・重点目標を意識した 50%

学校評価(年3回)をもとにしたPDCAサイクル

- ・アンケート（教育相談、体罰、いじめ等）
- ・学校関係者（学校運営協議会・民生児童委員会・ふれあい参観）
- ・市教委訪問 ・人事管理訪問 ・外部機関

Action

職員会議 主任者会 各種部会 各種組織 等で協議、検討

key word : 「魅力ある学校づくり第二期」(居場所・絆) ・ 時代にあった教育観、指導感